

情報連絡員総括表（2024年11月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 55 名：回収率 91.7%）

○2024年11月のDI値（全体）は、前月との比較において、「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」の3指標が悪化、その他5指標が改善した。「売上高」は3か月連続で改善傾向がみられるが、製造業・非製造業問わず乱高下を繰り返している。収益状況は、マイナス7.9ポイントの悪化を記録しており、今年度に入りDI値がプラスの値を示しておらず厳しい状況が続いている。

○「製造業」では、前月との比較において「資金繰り」「雇用人員」の2指標が改善され、「在庫数量」が横ばい、その他6指標が悪化した。特に「売上高」は前月において、36.6ポイント改善したが、今月は14.0ポイント悪化している。「製材業、木製品」では、伐採量の減少に伴い製材用の丸太が不足するなど、設備操業度を悪化させていることがうかがえる。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」の4指標が改善され、その他4指標が悪化した。「売上高」は先月26.7ポイント悪化していたが、今月は30.3ポイント改善傾向を示している。一方「収益状況」は先月13.3ポイント悪化していたが、今月も2.5ポイント悪化を記録するなど厳しい状況に置かれている。「鮮魚小売」では、売上高は前年並みであるが、来客数・客単価の伸びが限定的で、収益状況の改善が見込めおらず、「宿泊業」では、稼働率がコロナ禍前に戻りつつあるが、オンライン旅行代理店の手数料増加や食材費の高騰に伴い、収益状況の改善が見られない状況にある。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年11月	-1.8	-12.5	27.3	-12.7	-34.5	-12.7	-18.5	-7.2	-29.1
2024年10月	-10.0	-6.8	20.0	-13.3	-26.6	-13.3	-6.7	-10.0	-25.0
増減	8.2 ↑	-5.7 ↑	7.3 ↑	0.6 ↑	-7.9 ↓	0.6 ↑	-11.8 ↓	2.8 ↑	-4.1 ↓

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2024年11月	-7.4	-14.0 ポイント	↘	3.6	30.3 ポイント	↗	-1.8	8.2 ポイント	↗	6.6	-10.0	
	2024年10月	6.6			-26.7			-12.5					
在庫数量	2024年11月	0.0	0.0 ポイント	-	-38.5	-17.1 ポイント	↗	-6.8	-5.7 ポイント	↗	0.0	-6.8	
	2024年10月	0.0			-21.4			-12.5					
販売価格	2024年11月	22.2	-1.1 ポイント	↘	32.1	15.5 ポイント	↗	27.3	7.3 ポイント	↗	23.3	20.0	
	2024年10月	23.3			16.6			20.0					
取引条件	2024年11月	-14.8	-1.5 ポイント	↘	-10.8	2.5 ポイント	↗	-12.7	0.6 ポイント	↗	-13.3	-13.3	
	2024年10月	-13.3			-13.3			-13.3					
収益状況	2024年11月	-33.3	-13.3 ポイント	↘	-35.8	-2.5 ポイント	↘	-34.5	-7.9 ポイント	↘	-20.0	-26.6	
	2024年10月	-20.0			-33.3			-26.6					
資金繰り	2024年11月	-11.1	2.3 ポイント	↗	-14.3	-1.0 ポイント	↘	-12.7	0.6 ポイント	↗	-13.4	-13.3	
	2024年10月	-13.4			-13.3			-13.3					
設備操業度	2024年11月	-18.5	-11.8 ポイント	↘					-18.5	-11.8 ポイント	↘	-6.7	-6.7
	2024年10月	-6.7							-6.7				
雇用人員	2024年11月	-3.7	6.3 ポイント	↗	-10.7	-0.7 ポイント	↘	-7.2	2.8 ポイント	↗	-10.0	-10.0	
	2024年10月	-10.0			-10.0			-10.0					
業界の景況	2024年11月	-22.2	-5.5 ポイント	↘	-35.8	-2.4 ポイント	↘	-29.1	-4.1 ポイント	↘	-16.7	-25.0	
	2024年10月	-16.7			-33.4			-25.0					

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
食料品	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0		
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
木材・木製品	1	2	0	0	0	2	0	1	1	2	1	0	1	2	0	0	0	3		
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
印刷	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
窯業・土石製品	2	1	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0		
鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	1	0	0	1	0	3	0	1	1	1	1	1	1	0		
一般機器	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	1	0	2		
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
輸送用機器	1	2	1	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
卸売業	1	2	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	X							
小売業	1	3	0	2	3	2	0	2	0	5	0	3					0	1	0	4
商店街	2	2	0	2	2	1	0	1	0	2	0	2					0	1	0	2
サービス業	3	1	X		3	0	0	1	1	2	1	0					2	1	2	1
建設業	1	1			2	1	1	0	1	1	1	0					0	2	0	2
運輸業	2	0			2	0	1	0	0	0	0	0					0	1	0	0

3.情報連絡員からの報告

製造業

製材業、木製品	・建築需要の低迷から市況が悪化し、森林伐採の意欲減から製材用丸太が不足する事態となっている。
印刷	・イベントの運営が増加している。
骨材・石工品	・売上高及び収益が前年同期より減少(悪化)している社がある。
金属製品	・不祥事により停滞していた自動車関連の受注が回復してきた。
生産用機械器具	・一部回復傾向にあるが全体的にはまだまだである。
輸送用機械器	・ダイハツ生産停止に伴い生産減少、12月には徐々にではあるが回復の予定である。

非製造業

セメント卸	・11月の出荷は災害関連復旧工事が一巡した影響により前年同月比10.2%減で、2カ月連続のマイナスとなった。依然として低迷が続き、底打ちの兆しがみえない。
鮮魚小売	・物価高による節約志向が足かせとなり、来客数・客単価の伸びは限定的であり、総じて売上高は前年並みであった。収益状況が改善される見込みは依然として感じられない。
燃料小売	・価格上昇を抑制してきた燃料油への補助金は令和6年11月22日に開催された臨時閣議において、物価高対策などを盛り込んだ新たな総合経済対策が示され、補助金は段階的に縮小されることとなった。これに伴い第1段階として令和6年12月19日以降仕入れ値が5円程度(消費税抜き)値上がりすることが予想されるため、ガソリンなど店頭における販売価格に影響が出るだろう。
各種商品小売	・来年度以降組合解散に向けての協議を開始。街路灯の維持管理問題が長期化している。固定資産の処分について今後行政を含めて協議していく。 ・市内で開催されるイベント行事が増えてきており、食料品を中心に売上が良かった。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年98.0%と悪化した。遠方からの国内ツアーにおいて、連泊するお客様が多い印象である。 ・宿泊稼働はコロナ禍前(2019年)に戻つつあるが、OTAへの手数料増や食材費の高騰で収益は伸び悩む状況である。
総合工事業	・ファブ業界全体がかなり落ち込んでいるようである。来年夏ぐらいから山積みが高くなるような話を聞いているが、それも時期がずれ込む感じである。価格等も下って来ている為不安要素が多い。また、アメリカの政権の交代で、しわ寄せが来ない事を願う。
職別工事業	・物価上昇に伴い、計画変更、工期延長などの諸条件もあり、足元若干仕事量が薄めである。年末年始にかけて、人は余剰気味で今後の受注環境に影響が及ばないよう注視している。取引先には新担い手3法の説明を丁寧に行い、理解を得てもらおう、会員各所には依頼しています。年始から年度末にかけて現状は続きそうですが、年度明けには動き出しそう。
道路貨物運送業	・業界全体で依然として厳しい状況が続いている。特に、燃料費の高騰や人手不足が大きな課題となっており、今後の見通しも厳しく、輸送数量の減少やコストの上昇が続くと予測される。また、運転者の確保が困難な状況も続いている。
道路旅客運送業	・コロナ禍前との比較では、運送収入が88.5%まで回復、輸送人員については6.7ポイント改善したものの76.4%にとどまっている。依然として夜の利用客が戻ってこないとの声も聞かれるので、年末繁忙期に向けてさらなる旅客需要の回復が期待されるところである。

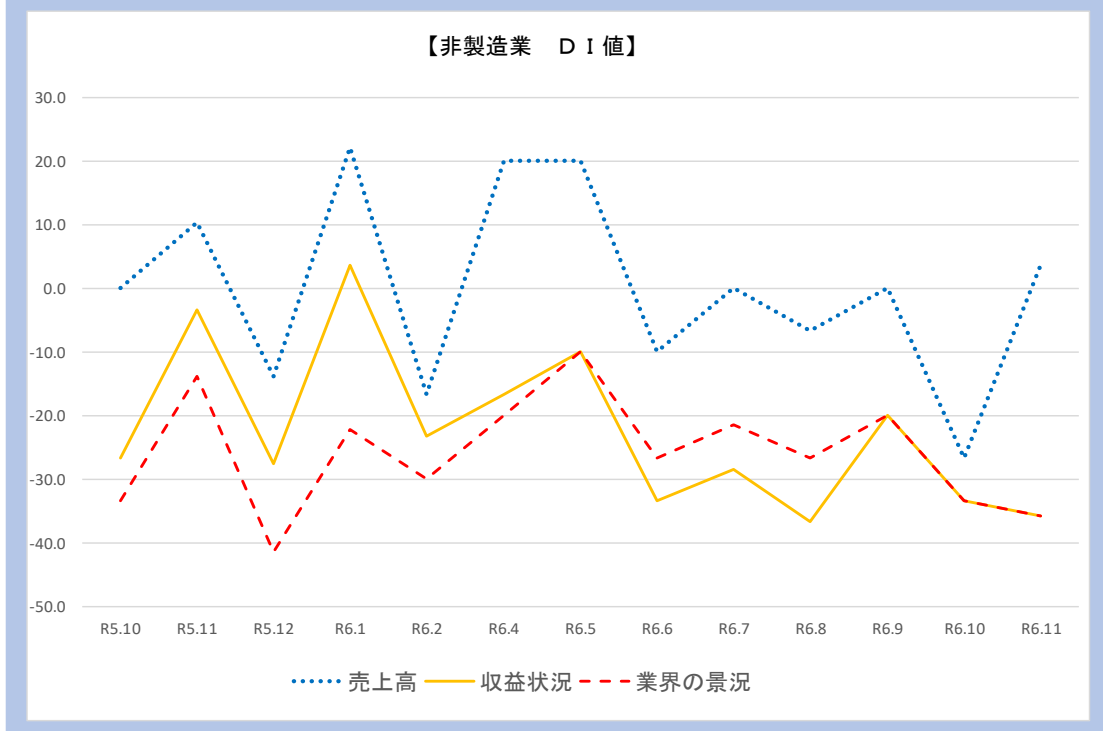
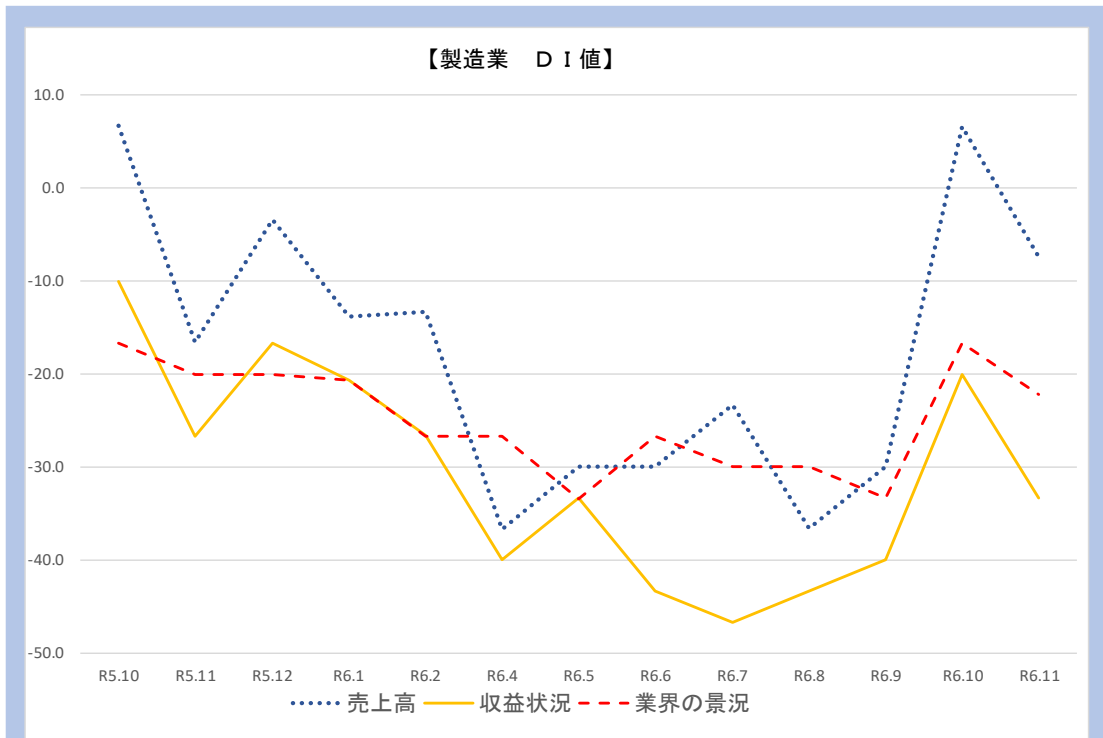
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2023年11月期～2024年11月期までの推移

全体	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
売上高	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7	-15.0	-10.0	-1.8
収益状況	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0	-30.0	-26.6	-34.5
業界の景況	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3	-26.7	-25.0	-29.1

製造業	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
売上高	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4
収益状況	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3
業界の景況	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2

非製造業	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
売上高	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6
収益状況	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8
業界の景況	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8



■2023年11月期～2024年11月期までの推移

売上高	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
製造業	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4
非製造業	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6

収益状況	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
製造業	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3
非製造業	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8

業界の景況	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
製造業	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2
非製造業	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8

